

科学講演会開催実績一覧

日時	講演者	講演題目	来聴者数
第1回(1978.11.18) 13:00~17:00 経団連ホール	霜田光一(レーザー科学・主任研究員) 田村三郎(招聘研究員) 宮崎友喜雄(副理事長)	レーザーの原理と応用 理研の歩みとライフサイエンス 宇宙線をつかまえる	539名
第2回(1979.10.25) 13:00~17:00 大阪科学技術センター	宇野木早苗(海洋物理・主任研究員) 松山晃(放射線生物学・主任研究員) 赤堀四郎(相談役) 三隅二不二(大阪大学教授)	内海・内湾における潮の流れ 放射線の生物作用とその応用 ライフサイエンスの目標 リーダーシップ行動の科学	185名
第3回(1980.10.30) 13:00~17:00 経団連ホール	後藤英一(情報科学・主任研究員) 長倉三郎(理論有機化学・主任研究員) 柴田和雄(招聘研究員)	計算機による数式処理とその応用 分子設計 —分子の構造と機能は どこまで解明されたか— 光合成と生命	250名
第4回(1981.10.15) 12:30~17:30 愛知県産業貿易館西館	福井伸二(相談役) 曾田範宗(研究顧問) 安藤忠彦(微生物学・主任研究員) 田丸謙二(固体化学・主任研究員)	名古屋地区とのかかわりあい トライボロジ(tribology)とはなにか 遺伝子組換えにおける酵素の活用 触媒作用はどのようにして起こるか	198名
第5回(1982.10.15) 13:00~17:00 経団連ホール	吉田清太(変形工学・主任研究員) 島誠(地球科学・主任研究員) 掘越弘毅(微生物生態学・主任研究員)	日本の自動車車体の鋼板とプレスと それらの評価法 明日の資源を探し求めて宇宙と深海へ 好アルカリ性微生物の世界	297名
第6回(1983.10.18) 13:00~17:20 勾当台会館(仙台)	見里朝正(微生物薬理・主任研究員) 光岡知足(動物薬理・主任研究員)	これからの作物保護 —農業と食品の安全性— 成人病予防と食生活 —腸内細菌とのかかわりあいを考える—	370名
第7回(1984.10.24) 13:00~17:20 日刊工業ホール	上坪宏道(サイクロトロン・主任研究員) 深見順一(昆虫薬理・主任研究員) 難波進(レーザー科学・主任研究員)	理研の加速器科学の変遷と研究の現状 性フェロモンを利用した農作害虫の防除 ビーム工学と超LSI	294名
第8回(1985.10.25) 13:00~18:00 九州厚生年金会館	豊田浩一(半導体工学・主任研究員) 雀部博之(生体高分子物理・主任研究員) 岩木正哉(ビーム解析室・研究員) 村田朋美(新日鉄第1技研特別基礎第3研所長)	レーザー科学とその応用の新しい動向 ハイブリッド材料の開発研究 イオン注入による新しい表面層の創成 機能性材料としての鍍	317名
第9回(1986.10.29) 13:00~17:00 経団連ホール	駒形和男(ライフサイエンス培養生物部・部長) 遠藤勲(化学工学・主任研究員) 井川洋二(分子腫瘍学・主任研究員)	微生物の多様性 バイオリクターの最近の動向 遺伝子研究の医学への応用	443名
第10回(1987.10.27) 13:00~17:00 名古屋国際サロン	中川威雄(変形工学・主任研究員) 粕谷敬宏(マイクロ波物理・主任研究員) 坂倉照好(真核生物・主任研究員)	ファインセラミックスの成形と加工 レーザーの新しい応用を求めて 癌細胞は周囲と何を話し合っているか	250名
第11回(1988.10.20) 12:50~16:30 虎ノ門バストラル	後藤英一(情報科学・主任研究員) 掘越弘毅(微生物生態学・主任研究員) 小田稔(理事長)	磁束量子パラメトロンと超高感度磁束計 極限微生物 星空を飾る超新星の爆発 —藤原定家とマジェランとケプラー—	450名
第12回(1989.10.24) 12:40~17:10 富山県民会館	井上頼直(太陽光エネルギー科学・主任研究員) 青柳克信(レーザー科学・主任研究員) 佐田登志夫(理事)	植物の光エネルギー変換素子 —光合成系— 最近のエレクトロニクス材料の発展 もの造りの技術の発展と21世紀の機械工場	291名

日 時	講演者	講演題目	来聴者数
第13回(1990.10.16) 12:40~16:50 経団連ホール	永嶺謙忠(金属物理・主任研究員) 磯野清(抗生物質・主任研究員) 青野正和(表面界面工学・主任研究員)	21世紀を担う粒子、ミュオン 抗生物質と生命科学 表面科学が拓く世界	391名
第14回(1991.10.29) 12:40~17:10 ホテル福岡ガーデンパレス	谷畑勇夫(リニアック・主任研究員) 伊藤正男(国際フロンティア研究システム・グループ ディレクター) 国武豊喜(九州大学工学部・教授)	元素創成と不安定核 —短寿命核がなければ、あなたはいなかった— 脳の不思議 超薄膜がめざす技術革新	333名
第15回(1992.10.2) 12:40~17:30 経団連ホール	小田稔(理事長) 八木江里(東洋大学工学部教授) 菅野卓雄(国際フロンティア研究システムフロンティア・ マテリアル研究グループ・グループディレクター) 高橋信孝(理事)	21世紀を拓く研究所を目指して 日本の科学史における理化学研究所の役割 —第二次大戦前— 波としての電子と極微細構造 —ナノ・エレクトロニクス— 植物生活環の制御と植物ホルモン —ジベレリンを中心として—	336名
第16回(1993.10.22) 13:00~17:00 仙台市・仙台ホテル	田崎京二(国際フロンティア研究システムフォトダイナ ミクス研究センター・センター長) 吉良爽(反応物理化学・主任研究員) 桜井成(植物生活環制御・主任研究員)	眼と光 電子移動という単純な反応 —亀の甲ばかりが化学ではない— 花成ホルモンを追う —花芽の形成を誘導するホルモンを求めて—	197名
第17回(1994.10.26) 14:00~17:05 ヤクルトホール	伊藤正男(国際フロンティア研究システム・システム長) 御子柴克彦(分子神経生物学・主任研究員) 甘利俊一(国際フロンティア研究システム・情報処理 研究グループ・グループディレクター)	脳と心 脳がつくられるしくみ 脳とコンピュータ —人工頭脳の実現に向けて—	427名
第18回(1996.11.25) 13:00~16:25 和光市民文化センター 「サンアゼリア」	上坪宏道(理事) 平尾泰男(科学技術庁・放射線医学総合研究所・所長) 矢野安重(サイクロトロン・主任研究員) 谷畑勇夫(リニアック・主任研究員)	重イオン科学への扉を開く がん治療における重粒子線への期待 理研サイクロトロン10年間の歩みと今後の 展開 理研加速器研究施設における研究10年	355名
第19回(1997.10.30) 13:00~17:00 ホテルサンガーデン姫路	上坪宏道(理事) 飯塚哲太郎(生体物理化学・主任研究員兼理論構造 生物学・主任研究員) 川合真紀(表面化学・主任研究員)	21世紀の光「SPRING-8」 加速器の進歩から生まれた新しい生物学 —構造生物学研究— 原子・分子をあやつる	331名
第20回(1998.10.9) 13:00~16:45 横浜ロイヤルパーク ホテルニッコー	和田昭允(ゲノム科学総合研究センター・所長) 林崎良英(GSC 遺伝子構造・機能研究グループ・ プロジェクトディレクター) 榎 佳之(GSC ゲノム領域構造・機能研究グループ・ プロジェクトディレクター) 横山茂之(GSC タンパク質構造・機能研究グループ・ プロジェクトディレクター)	ゲノム科学総合研究と新しいセンターの 役割 ゲノム科学と遺伝子エンサイクロペディアが 切り拓く新しい世界 生命の設計図“ゲノム”を読む タンパク質の形と働きに基づくゲノムの 理解	558名 (131名)

日 時	講演者	講演題目	来聴者数
第21回(1999.10.26) 13:30～16:50 経団連ホール	丸山瑛一(フロンティア研究システム・システム長) 国武豊喜(フロンティア:時空間機能材料研究グループ・グループディレクター) 鈴木明身(フロンティア:生体超分子システム研究グループ・グループディレクター) 特別講演 江崎玲於奈(ノーベル物理学賞受賞者・前筑波大学長)	フロンティア研究の新展開 材料研究の新しい動き —「時空間機能材料」研究とは何か 情報認識・伝達の新しいしくみ —生体超分子システム研究の目指すもの 変革の時代 —科学者の歩んだ50年の道—	635名 (90名)
第22回(2000.11.6) 14:00～17:10 バンフィコ 横浜会議センター	吉良 爽(横浜研究所長・副理事長) 和田昭允(ゲノム科学総合研究センター・センター所長) 林崎良英(GSC 遺伝子構造・機能研究グループ・プロジェクトディレクター) 横山茂之(GSC タンパク質構造・機能研究グループ・プロジェクトディレクター) 榎 佳之(GSC ゲノム構造情報研究グループ・プロジェクトディレクター) 杉山達夫(植物科学研究センター・センター長) 豊島久真男(遺伝子多型研究センター・センター長)	横浜研究所について ゲノム科学総合研究センターの特徴と戦略 RIKEN Mouse Genome Encyclopedia Project タンパク質の構造と機能 ヒトゲノム全解読国際プロジェクト —理研GSCの役割と貢献— 植物科学研究センターの発足にあたって 遺伝子多型研究について	689名 (140名)
第23回(2001.11.12) 13:30～17:00 東京国際フォーラム 「最先端のITが切り拓く科学技術」	牧野内昭武(ものづくり情報技術統合化研究グループ・プログラムディレクター) 姫野龍太郎(情報環境室 室長) 小長谷明彦(GSC 遺伝子ネットワークモデル化研究チーム・チームリーダー) 戎崎 俊一(情報基盤研究部・部長)	ものづくりのためのIT道具を創る —理研で始まったV-CADプロジェクト— 人体と流れのシミュレーションが拓く世界 ～血流から魔球まで～ ポストゲノム時代の バイオインフォマティクス ベタマシンで探るユニバース(森羅万象)	283名 (39名)
第24回(2002.7.8) 14:00～17:30 神戸ポートピアホテル 「発生・再生研究が切り拓く世界 —神戸研究所開所を記念して—」	竹市雅敏(発生・再生科学総合研究センター・センター長) 相澤慎一(ボディプラン研究グループ・グループディレクター) 近藤 滋(位置情報研究チーム・チームリーダー) 阿形清和(進化発生研究グループ・グループディレクター) 西川伸一(幹細胞研究グループ・グループディレクター)	発生・再生とは? 動物の体造り 動物の模様つくる化学反応の波 切っても切ってもプラナリア —再生の不思議— 再生医学の夢	538名 (92名)
2003年(2003.10.30) 14:00～17:20 東京国際フォーラム 「なるほど!脳の中身が見えてきた!」	利根川進(MIT Picower学習と記憶研究センター・センター長) 伊藤正男(脳科学総合研究センター・特別顧問 記憶学習機構研究チーム・チームリーダー) 甘利俊一(脳科学総合研究センター・センター長 脳数理研究チーム・チームリーダー)	学習と記憶の機構 脳の設計図は果たして読めるのか —脳科学の夢— 21世紀の脳科学	1220名 (129名)
2004年(2004.10.20) 13:30～17:30 経団連ホール 経団連会館14階 「分子から始まる新しい科学」	藤嶋 昭(東大名誉教授/財団法人神奈川科学技術アカデミー理事長) 鈴木俊法(理化学研究所中央研究所・鈴木化学反応研究室主任研究員) 鈴木正昭(岐阜大学大学院医学研究科教授) 野依良治(理化学研究所理事長)	光触媒が活躍する 化学反応を探る:分子線とレーザーによる反応のスナップショット 人の中の分子を見る 力量ある化学合成にむけて	506名 (83名)

来聴者数欄の()内は理研来聴者数で内数